

第2回「Over The Rainbow」展 開催記念イベント

微笑みがいっぱいの会場！ 4/23 (日)



滋賀県草津市の「アイ・コラボレーションの作業所」と「集西楽サカタニ」をインターネットで結び双方向で交流するイベント【絵と音楽とお話と素敵な出会い】が4月23日(日)に行われました。ギャラリーカフェ集では、4月1日〜30日までアイ・コラボレー

出展者の作業所(草津市)と会場(ギャラリーカフェ集)をインターネットで結んだイベント「絵と音楽とお話と素敵な出会い」

今回の主催者アイ・コラボレーションは、障害の有無を問わずITを使って自立を目指す個人を支援する事業体です。今回の「オーバー・ザ・レインボー展2nd」は集西楽サカタニが開店した間無しの一昨年6月に始めて開いた展覧会の続編です。

今回の展覧会を応援しようとしてユニットのミュージシャンが名乗りをあげてくれました。優しい歌声で評判のフォーク歌手宮原春彦さん。山科で「みんなの会」を主宰している吉田さつきさん、佐々木ゆかさん、角谷久恵さん。NPO法人「音の風」の代表選手音心楽隊(お

きらくたい)。みんな心優しいミュージシャンたちです。今回は画家の一人日野隆子さんが、滋賀県草津市からお母さんと一緒に集西楽の会場まで来てくださり、一同感激の中で始まりました。

定評のある宮原さんのうたは素晴らしく、みんなうっとり。2番手はオリジナルソングを中心に音楽活動をしているRing Ringのみなさん。



日野隆子さんのうたは素晴らしく、みんなうっとり。

「ともだち」「子守唄」は作詞吉田さつきさん、作曲佐々木ゆかさん合作、その心にしみるような歌詞とメロディーに角谷久恵さん演奏の二胡の清らかな音色が重なり思わず涙する姿もありました。イベントに間にあうように完成させた何十枚かのCDをもってこられました。すべて売り切れました。3番手にはNPO法人「音の風」の中心メンバーが揃った音

心楽隊(おきらくたい)「このユニットにはボーカルはいません。お客様全員がボーカリストです」とリーダーの細江さん。細江マジックといわれるその微笑に会場は魔法にかかったようになごやかに、日野さんも楽器を手

にリズムを、草津作業所の皆さんの歌声、顔も「集」の大型テレビに写り、全ての参加者が一緒に笑い笑顔があふれました。そして素敵な出会いを心のお土産に終了したのです。このイベントにご参加いただいたお客さま、絵を展示してくださった作家の皆さん、そして朝早くから準備していただいたミュージシャンの方々すべてに感謝いたします。また、このような機会がつかれることを祈りつつ...



「Ring Ring」吉田さつきさんの詩と佐々木ゆかさんから寄せられた当日のお礼と感想を4ページ掲載しました。

笑に会場は魔法にかかったようになごやかに、日野さんも楽器を手

は毎月発行の印刷品です。毎月発行の印刷品です。毎月発行の印刷品です。

発行者 株式会社サカタニ 集西楽・サカタニ ファミリーマート

サカタニ京阪七条店 〒605-0993 京・東山区七条こころ坂下 075-561-7974 URL www.sosake.jp/

西は酒屋スペース



貸ホール・2F奥 多目的使用の貸ホール・楽(らく) 62㎡(60人収容可) 展覧会、音楽会、教室、会議、パーティー... 多目的使用可。音響ほか設備完備。



酒屋・2F中央 1913年創業の酒屋・西(しゆ) 京の銘酒・各地の醸造・発酵・ワインなどを展開しています。試飲や地方発送も出来ます。



ギャラリー・カフェ・集(しゅう) 1Fファミマのお弁当、お飲み物に限り持ち込み可。ギャラリー、プチライブ、会議など貸切利用可能。

(株)サカタニ

TEL 075-561-7974 URL http://www.sosake.jp/

集西楽サカタニ

楽ホールは貸しホール 20坪のホール・イス・テーブル・ピアノ・音響設備あり 会議や催しにお安く気軽に使えます。ご相談に応じます。

集西楽の横の階段を2Fへ「ファミマのスペース」壁面は何時でもギャラリーとして絵や写真などが展示してあります。

ヨシィちゃんのひとりごと

光陰矢の如し

1月は行く、2月は逃げる、3

月は去る、と言う

そうですが、早

も5月号の「と

んからりん」を

いとりますねん。

「少年老い易く学

なり難し、一寸の

光陰軽んずべから

ず」中学生時代漢

文の授業で教えて

もろたんは、半世

紀以上の遙か昔の

こととして、それから55年、

【学】がなるところか、最近

昨日食べた「オカズ」を忘れた

り、老眼鏡を首にかけてるのに

辺りを探し、娘と孫の名前を問

違つて家人に笑ってますわ。歳

はとりとうもないもんとすなあ

サッパリ「わや」のこの頃です。

(ここで京都弁はしまい)

子どもの頃、年の暮餅つきか

らお正月までの2日ほどが随分

待ち遠しく感じ(早く来い来い

お正月)、戦時中6ヶ月余りの

疎開生活(欲しがりません勝つ

まではとガンバツタ)は何年も

したように今でも思うのです。

最近1年が短くなった  
と思う人は必読デス!

所が何時のころからか  
時間が早く経つように  
感じだしました。世の

中全体がスピードアップしたか

ら、自分が何時も忙しく働いて

いるからと思つていたのですが

家人も友人たちも「歳をとると

日が早く過ぎる」といいます。

ある日私に届いた「ケメコ通

信」ブログ」で年齢と時間の関

係を説明する「ジャーネーの

法則」のことが掲載されてい

ました。

フランスの心理学者ポール・ジャ

ネーの「生涯のある時期におけ

る時間の心理的長さは、年齢の

逆数に比例する」とした法則で

す。

何のコツチャとインターネット

で調べると例えば「1歳の子ど

もの1日」30歳の大人の30

日分」で子どもは1日で30歳

の人の約1ヶ月分生きているこ

とになるのです。

この法則は赤ん坊の短期間の成

長やの早さを理解させてくれま

す。私も夢中で仕事をしながら

親になり「ジイジイ」と呼ばれ

る歳になりました。最近は一

日早く過ぎ、地球の回転速

度が人間の気付かない内に一日

が24時間でなく12時間になつ

たのか密かに解釈していたので

す。こんなことまで研究してい

る人がいて法則まで有るとは目

私は人間に与えられた時間は  
「全て平等で公平」と信じ、与  
えられている時間を無駄にして  
はならないとは心掛けてきまし  
た。だが幼い時は遅く、年齢に  
応じて時間は早くなるこの法則  
を知つた今、私を含め高齢者の  
分類に入つている者は特に1日  
1日を大切にしなければと思つ  
のです。否1分1秒も無駄にせ  
ずに、精一杯の生き方を見つけ  
るようにしないと、勿体無いモツ  
タイナイと思つのであります。  
ケメコ通信は産大講師沢田好宏氏が  
毎日更新されている素敵なブログです。

サカタニ友の会・  
会員登録の更新は  
お済みですか?

サカタニ友の会は毎年3月末で  
会員登録を更新していただい  
てます。まだ更新されていない  
方々さまには再登録お願いのハ  
ガキを同封しました。是非平成  
18年度も「友の会」にお入り  
下さい。年会費1200円です  
がご損にはなりません。  
**会員様サービス**  
入会又は更新の時と年度内

毎月第三日曜日・朝粥食べて、おシャベリ会

朝9時〜10時30分に  
「朝粥食べておシャベリ会」  
を「ギャラリーカフェ集」で  
開催しています。  
次回は5月21日・17回目  
の開催です。

朝粥食べて、おシャベリ会



右は朝粥会の写真です

最近の会は始める30分程色々  
な企画、5月は「市田節子さ  
んによるお手玉(京都はオジャ  
ミ)の体験」する企画です  
昔から伝わる「オジャミ」は簡  
単な動作の繰り返しですが、  
指先、手首、目、の運動にな  
り、脳の働きが良くなります。  
ボケたくない人は参加下  
さい。この地域は高齢者下  
れも一人か二人で暮らす方々  
が多い、月一回でも多くの  
「おシャベリ」をして「お  
粥」を食べたら「エエヤンか  
と始めた会です。参加費は  
外の方は300円。お米は塗師  
町の「イビさん」お漬物は本  
町6丁目の「赤尾屋」さんの  
ご協賛を頂いています。

予約制です。  
ファミマ・サカタニ又は  
561-7974サカタニ  
へご予約下さい  
次回は5月21日(日)

(計2回)五〇〇円お買物券  
を進呈。  
毎月50円割引券を進呈  
この券は、ファミマ、集西薬  
サカタニで使用できます。  
会員様価格での商品配達、  
試飲会、蔵見学、朝粥会の会  
員割引有り。  
2階の「集西薬サカタニ」で  
お買物は100円で1ポイン  
ト、配達分は200円で1ポ  
イント進呈300ポイント  
で300円のサービス券発行  
登録会員様はカードが無くて  
も自動的にポイント入ります。  
会員様には、  
情報紙「とんからりん」や  
案内をお届けします。  
未成年やご同業の方、当社の  
都合で入会を断る場合も有り  
ます。  
平成18年度の会員登録をさ  
れた方々には「五〇〇円お買  
物券」と会員証はお届けお渡  
し済みです。3ヶ月ほど「と  
んからりん」を切り取りご使  
用いただきました50円割引  
券は今月から元のようにして  
同封しました。ご使用期限は  
毎月末までですから、お早く  
ご使用ください。  
ご町内や各種団体さんのご会  
合に「楽々ホール」や「ギャ  
ラリーカフェ集」、「カラオケ  
ボックス」などご利用できま  
す。ご相談下さい。

寄稿・投稿

この欄は皆様用のスペースです。ご投稿寄稿をお待ちしています。匿名も可

# タマとソーのぼくづいぶり

ぼくづいぶり 創作の続き

あや香



にやうたつたいへんニヤー」と話したとたんソーの目は点になりました。

そしてソーはタマにいいました。「おまえしゃべれるのか!」「それより家に帰るほうがさきニヤー」タマは早口でしゃべりました。

ソーはいそいで荷物をまとめました。そして船からおりると、走って走って林をぬけ、森をぬけ、草原をぬけて100メートル

喫茶ルーム・集re・イベント会場 楽々ホール  
5月のイベント情報は同封の会員様用のチラシをご覧ください!

走った所で家が見えました。もうタマは家に入っています。ソーはおそるおそる家に入ると、お母さんが悲しそうな

声でいいました。

「タマをかえしましょうよ……」といきなり言い

ました。ソーはおどろいて、「お客さんに何かいわれたの? タマから聞いたよ」ソーがいうとお母さんはおどろいて言いました。

「タマはねこよ!しゃべらないわ」とお母さんが言うと、タマはむくくと人間のように二本足で立ち、いいました。「いままでかくしていました。さつききた客はわたしの肉を食べて魔術師になろうとして

います」その言葉を聞いたお母さんはビックリ!「キヤー、〜」といてソーにいいました。「このねこはバケモノよ早く?(ナソ)の人にわたさなきゃ!」

そういうと受話器をとり番号を押しました。「ぴびぴびぴ・」までおし

黒マントの男と女の人がまどから入ってきました。

二本足で立っていたタマはおびえるように、ソーの服の中に入っ

ていきました。そして、テレビパシーで伝えるようにいいました。「こいつ、ぼくらの肉をねらっているこわいヨ!」

ソーは黒マントの二人にいいました。「なんでタマの肉なんかほしがるんだよ」黒マントの男

がいいました。「肉を食べれば魔術が、つかえるんだイダロウ」そして黒マントの女がいい

ました。「わたしたちはねこの研究を続けた。そのネコが一番のヒミツ(ビビビビ)だから」ソーは

その言葉を聞いて悲しくてたまりません。

それでもソーはタマをわたしたくありませんでした。

そしてソーは決意しました。「帰ってくれかかんがえとく」

ソーはそう言つて黒マントに帰つてもらいました。タマはいいました。

「考えておくと……」ソーはタマの方を見て「平気」と言いましたもや旅の準備を

しました。旅の準備が終ると家を出て、草原をぬけ、森をぬけ、林をぬけて大きな海にでました。

海に出たとたん!「バーンバサ」と音がしました。

ソーは、チラリと自分の家の方

がくを見ました。けれども家は見えませんでした。

タマはいいました。「お母さんをおいてついでいいの

かい?」ソーはなみだをポロポロ出し泣き始めてしまいました。

「だって母さんは黒マントのみかただもん」ソーはそう言つて、家でお母さんに作つてもらった

たこやきおにぎりを食べ、むつくと立ち上がりました。「ソーあぶないよ!どつしたの?」

「タマが言つとソーは言葉を返しました。」

「タマ母さんの所へ行こう」そう言つとソーは、船をきしにつけて、外に出ました。

(次回で完結です)

先日は素敵なコンサートに参加出来て私たちにとっても感動一日でした。感謝の気持ちでいっぱい

RingRing 吉田さつき 佐々木ゆか 角谷久恵  
吉田さつき sachan35@yahoo.co.jp  
佐々木ゆか sasaking@zd5.so-net.ne.jp

**ともだち** 作詞 吉田さつき 作曲 佐々木ゆか

ぼくときみ かおも かみのけも ぜんぜんにてないね  
ぼくときみ こえも めのいろも ぜんぜん ちがうね  
きみの ははやいあしに あこがれる きょうなてに あこがれる  
でもどうころんでも きみにはなれないよ ぼくはぼくだもの  
きみとぼく じも えがくえも ぜんぜんにてないね  
きみのほく すきなうた かなでるくちぶえぜんぜん ちがうね  
きみの やさしいこえは すてきだね  
でもどうころんでも きみにはなれないよ  
ぼくはぼくだもの

ちがいまする ぼくらにも  
たつたひとつ おなじものがあるさ  
それは  
ぼくときみの  
きみとぼくの  
いのちのおもさね

# 酒屋で生きて 生かされて

## 第四話・統制から配給

昭和十五年、当時は酒免許制度が確立していなかったため、酒を売っている店が多数あり、その店全ての酒販売実績を把握する調査を税務署実施しました。祖父の代理で父一郎が京都府酒類実績調査委員に任命されました。続いて企業整備の名で酒販売数の少ない酒屋さんに廃業を税務署が強要したのです。

祖父は「お国にためとは言えさん等は気の毒なことや」と廃業を命じられたお店に同情していました。

そして昭和十六年「酒卸店」の業務を全て統轄（統制）する「京都府酒類販売株式会社」が烏丸四条下の石崎酒造（澤の鶴）京都支店の場所にできました。酒の流通はその会社と京都酒販協同組合を通じることになりました。先の実績調査で酒販売数の多い店から「社員」が選ばれ、父も入社しました。続いて「酒配給制度」ができて、十二月八日太平洋戦争が始まったころ、衣料品や靴から米、麦、塩、醤油、砂糖、煙草、殆どの物資が政府の統制下になっていくので

す。当初酒は「冠婚葬祭」用には特配が有りましたが後「二本が一本、それも無くなりまして」「冠」は兵隊に召集される時を表します。

昭和十七年二月、店の東一軒おいて隣の八百屋さんから出火両隣三軒が類焼し、その後空家だった隣家を譲りつけ建てかえ飲食店をそこに移しました。その店を任す予定だった近眼で兵役免除されていた番頭さんや父も兵役に行き、祖父も強制的に軍事工場や炭鉱労務させられる徴用が嫌で知合いの軍事工場へ働きに行くようになります。ビール会社は大日本麦酒（現アサヒ・サッポロ）



麦酒は麒麟の借用よりなりました。麒麟の借用よりなりました。麒麟の借用よりなりました。

と「麒麟」の二社も統合されラベルは名刺半分位の薄紙に「麦酒」とだけ記入されていました。が殆ど市場から消えていきました。昭和十九年頃までは、飲食店用の酒の配給があり、東隣での「飲み屋」は国民酒場として祖母が知人のお手伝いを得て営業しました。入荷する量は日に二斗（36ℓ）程度、一人一合でも二百人です。飲みたい人が多く開



区爆撃隊が山道に新用した。昭和二十年一月十六日早朝、馬場町（現東山）で爆撃された。写真は朝日新聞に掲載された。

店前から行列が出来て、割り込み等で喧嘩騒ぎが再々でしたが、お客さんの中で世話役ができて、番号札で整理、酒のつまみも何所から都合してくれてどうに

## 黒木瞳・ウメッシュ

もうひと月もすると青梅の

実が出回ります。最近では家庭で梅酒をつくる方が少なくなりましたが、それでも35度ホワイトリカーの良く売れる時期、酒屋として準備を怠るわけにまいりません。今年も「梅酒用青梅」とあわせて特売をいたします。

近頃黒木瞳さんが「蝶矢梅酒」のテレビCMをしています。それを見ると私が酒問屋の仕事にかかわりだした青年時代を思い出します。当時（昭和34〜35年ごろは清酒が全盛、ヤツとビールが良く飲まれるようになったころです。

か営業が続けられました。二十年にはその配給も無くなり飲食店は休業になりました。昭和二十年一月十六日早朝、馬場に爆弾が落ち三月十四日（？）には大阪大空襲、学童疎開、八月十五日敗戦（終戦）、九月二日祖父喜一郎の死と続き酒屋商売は休業状態、自家製の醤油、塩やお箸、歯磨き粉、手提げ袋の雑貨品などを売って生活を維持していたようです。



今でこそ「梅酒」は大きな市場ですが当時は家庭ではつくれない時代でした。

そのころに、羽曳野で自家生産の葡萄で「ワインとブランドー」つくっていた金銅（コンドウ）酒造？がリキユール製造免許を得て「梅酒」をつくり販売を始めました。縁あって私の店も扱いました。縁あって私の店も扱いました。酒屋さんに「置き廻り販売」に歩いたのです。置き廻りとは「注文をとらずに車に積んで無理やり押付けして売る方法です。蝶矢さんはご当主の息子さん「ご兄弟の一人」が私の横に乗り応援してくれました。その頃は大きく売れませんでした。酒税法が改正され家庭でつくれ

るようになって頃から急速に販売が増えました。

いち早く「梅に実入り」とか「カップ入り」を世に出され業績を伸ばされたのです。大手の焼酎メーカーさんも市場に参入しましたが帳矢さんに追いつけないまま今に至っているようです。昔、同行販売していた時代に、製法をききましたら、「ご家庭でつくっているのをそのまま規模だけ大きくしているので他社と違うのだとの返事でした。

手間とコスト優先での大手メーカーさんに対して、真面目、地道な努力が実って大発展され海外でも大活躍、大いに敬意を表します。毎晩テレビ画面を見ながら「黒木瞳」相手に日本酒をウメッシュしているのです。

レンタルルームやカラオケのお問合せ  
教室や貸切はお気軽にご相談下さい。担当・酒谷宗男。

カラオケルーム《本格的》  
7・8人収容可

毎週水・金曜日  
18時～21時  
（個人レッスンの部）

川端督也ギター教室  
（個人レッスンの部）

集の喫茶ルーム  
横レンタルボックス  
毎週土曜日・予約制  
薬剤師横山政美さんの  
ブルーニック・  
ヒーリング

1回2千円（30分・60分）